

平成28年第4回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成28年3月24日(木) 12時30分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席委員(5名)

委員長	加 藤 博 之
1 番	山 田 幸 男
2 番	五 嶋 久 年
3 番	水 野 昌 代
4 番(教育長)	平 林 道 博

説明のため出席した者の職、氏名

事務局長	伊 藤 正 徳
事務局次長兼	
学校教育課長兼	藤 井 雅 明
学校給食センター所長	
教育総務課長	酒 井 浩 二
社会教育課長	柴 田 宏
スポーツ文化課長	工 藤 将 哉

職務のため出席した事務局職員

教育総務課総務係長	羽 柴 千 世
教育総務課主事	丸 山 佳 子

委員長	<p>12時30分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。</p> <p>—市民憲章朗誦—</p> <p>日程第1、前回会議録の承認を行う。 平成28年第3回教育委員会定例会の会議録の承認は、1番山田幸男委員と2番五嶋久年委員が承認の署名を行う。</p> <p>—署名—</p>
委員長	<p>日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。 本日の会議録署名委員は、委員長において、3番水野昌代委員と4番平林道博委員の2名を指名する。</p>
委員長	<p>日程第3、「議第16号 瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について」を議題とする。</p> <p>本案について、事務局に説明を求める。</p>
スポーツ文化課長	<p>【議案資料により説明する】</p>
委員長	<p>質疑はあるか。</p>
教育長	<p>今回のスポーツ推進委員については議案のとおりで良いと思うが、2年後についてはさらに委員の入れ替えを図り、難しさはあるとしても、若い委員や新しい委員を入れるようお願いしたい。</p>
スポーツ文化課長	<p>そのように考えております。 今回から、各地区の区長会に委員の選任を依頼した。今後は、区長会やまちづくり推進協議会にも声を掛け、道筋づくりをしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>今回、定員26名のところ19名の委員が委嘱されますが、瑞浪地区・土岐地区が人口比から見ても人数の充足があってもいいのではないかと思います。その辺りも区長会への依頼をお願いします。</p>
スポーツ文化課長	<p>はい。そのように申し伝えます。</p>
委員長	<p>他に質疑はあるか。</p>
各委員	<p>質疑なし。</p>
委員長	<p>質疑を終結し採決を行う。 「議第16号 瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について」を原案のと</p>

	おり承認することに異議はないか。
各委員	異議なし。
委員長	ご異議ないものと認める。 よって、「議第16号」は、原案のとおり決する。
委員長	続いて、「議第17号 瑞浪市生涯学習推進委員会設置要綱の制定について」を議題とする。 本案について、事務局に説明を求める。
社会教育課長	【議案資料により説明する】
委員長	質疑はあるか。
教育長	委員長を「市長」から「互選」に変えるのか。
社会教育課長	その通りである。 委員会で互選し、市長にやっていただくという形に変える。
委員長	他に質疑はあるか。
各委員	質疑なし。
委員長	質疑を終結し採決を行う。 「議第17号 瑞浪市生涯学習推進委員会設置要綱の制定について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	異議なし。
委員長	ご異議ないものと認める。 よって、「議第17号」は、原案のとおり決する。
委員長	続いて、「議第18号 平成28年度瑞浪市の教育の方針と重点について」を議題とする。 本案について、事務局に説明を求める。
教育総務課長	【議案資料により説明する】
学校教育課長	【議案資料により説明する】
委員長	質疑はあるか。

山田委員	資料22頁の「児童生徒学業支援員派遣事業」について、27年度の課題として「支援員の増員」が挙げられている。28年度の概算見積で「27, 125千円」とあるが、現在25名の支援員の増員は見込まれるのか。
学校教育課長	27年度と同じ25名を予定している。
山田委員	課題として支援員の増員を挙げているが、他に手が無いということなのか。
学校教育課長	はい。この学業支援員派遣事業が1番の重点事業だと考え、色々な予算を削って予算要求しました。その結果、25名がなんとか確保できたという状況です。
水野委員	実際に27年度、現場から「支援員を増員してほしい」という強い要望があった。なかなか予算がつかないということですが、つかないから仕方がないということでもいいのか。支援員の増員要望は前々から出ている。
学校教育課長	学校からの要望もあり、私たちが実際に現場を見て、支援員増員を図る予定で財政係とも交渉しました。しかし、財政上の問題もあり、25名より低い数で査定が上がってきました。そこで、学校教育内の予算をいくつか調整し、25名の人数を保てるようにしました。
五嶋委員	瑞浪南中学校と瑞浪北中学校の学校統合もありますが、クラス数は減るのか。もしクラス数が減るのであれば、1クラス当たりの学業支援員は実質増員になるのではないかと。
学校教育課長	今年度については瑞浪南中学校が開校となるため、陶中学校分の3クラスが減ります。また、瑞陵中学校が2クラス減となります。 しかし、陶中学校には支援員を派遣していなかったため、来年度は変わらないと考えている。今後のクラス数がどうなるのかを算出し、それに対して支援員が多くなるのか少なくなるのか考えていきたい。
	瑞陵中学校は2クラス減となり、教員は3名減となる。
教育長	五嶋委員の言われるように、学級数を加味すれば支援員が増員しているという考えは前向きな意見である。
委員長	この事業について、来年度に向けて「支援員の増員」という課題は残るのか。それとも、教育委員会事務局としては、25名で充足されているという判断なのか。
学校教育課長	また学校の現場の様子を見なくては行けないが、学校要望を全て整えていいのかという問題もあると考えている。教員の資質を高めていくこ

とも重要だと思しますので、支援員頼りで授業を行うようなことにならないように支援員の派遣を考えていきたいと思っている。

山田委員 学校現場で、支援員に安易に頼ってしまうという課題があるということなのか。

学校教育課長 はい。

山田委員 それは大変大事なことだと思います。
また、学業支援員の予算の財源は、国の緊急雇用促進関係の予算を充てているのか。

学校教育課長 学業支援員派遣事業については、市の予算で全て賄っている。

山田委員 支援員が25名で足りるのかということも問題であるが、現状の予算の捻出先を考えると、今後もこれ以上予算が増えることは難しいと思う。予算の捻出方法を根本的に見直していかなければ、これ以上の予算を確保することは難しい。教員の資質の課題もあるが、現実に支援員が十分ではないという事実もあるので、ぜひ予算の捻出先について何パターンか考え、ご努力していただきたい。

水野委員 支援員頼りはいけないという課題もあると思うが、現実として幼稚園でも問題のある子どもが増えてきている。そういった状況も考え、支援員の増員は真剣に取り組んでいただきたい。

社会教育課長 【議案資料により説明する】

委員長 質疑はあるか。

各委員 質疑なし。

スポーツ文化課長 【議案資料により説明する】

委員長 質疑はあるか。

各委員 質疑なし。

委員長 質疑を終結し採決を行う。
「議第18号 平成28年度瑞浪市の教育の方針と重点について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員 異議なし。

委員長 ご異議ないものと認める。

よって、「議第18号」は、原案のとおり決する。

続いて、「議第19号 職員の指導処分について」を議題とします。

この議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項のただし書きに該当するため非公開とすることについてのご審議を願う。議第19号について非公開とすることに異議はないか。

各委員

異議なし。

委員長

異議がないので、議第19号について非公開とする。

【非公開】

委員長

「議第19号 職員の指導処分について」を原案のとおり承認することにご異議はありませんか。

各委員

異議なし。

委員長

ご異議ないものと認める。

よって、「議第19号」は、原案のとおり決する。

委員長

以上で本定例会に提出された議案の審議が終わり、本日の日程が終了したので、これにて、平成28年第4回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

13時22分 終了